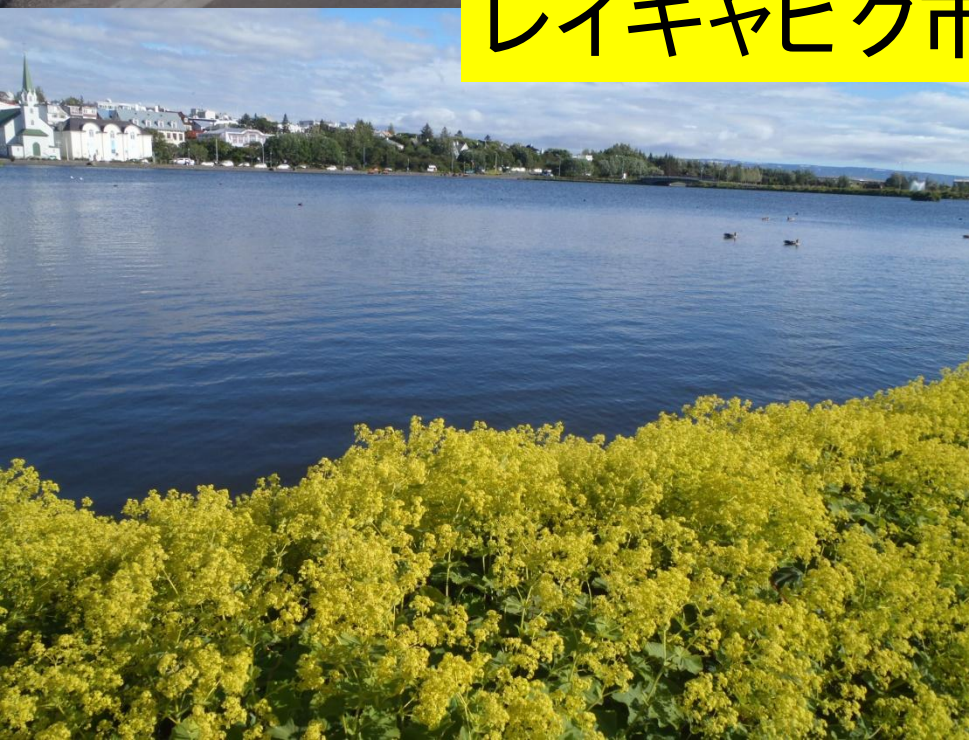
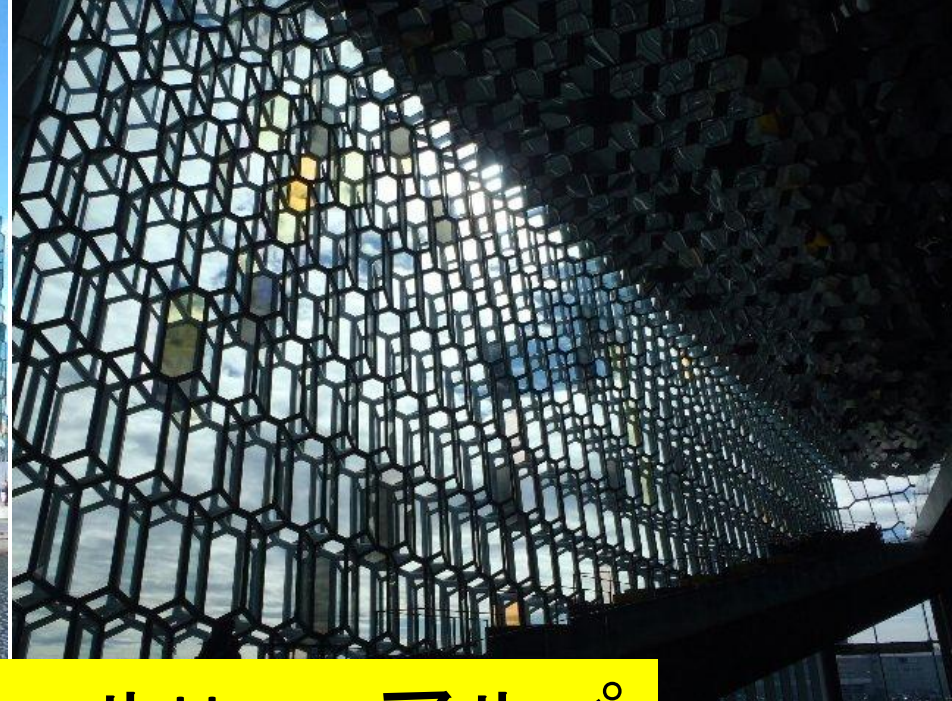




レイキャビク市内風景(2)





国立コンサートホールHarpaアルパ



補足事項

【エネルギー局】

- ・アイスランドでは1970年代の石油危機の際にエネルギー政策の意識を変える必要に迫られ、水力と地熱にシフトした。それから40年が経過し、エネルギーの8割以上を地熱と水力でまかなうまでに至った。
- ・日本も東日本大震災を受けて、新しい方法を検討していけばよい。
- ・原子力発電は1950年代に検討したが、現在は必要ないと考えている。

【レイキャビック・エナジー社】

- ・レイキャビク市への温水パイプラインの建設は1939年に開始し、総延長は32km。毎秒560リットルを輸送し、景観配慮のため基本は地下埋設。

【商工省】

- ・アイスランドの収入 1位:アルミニウム工場、2位:観光、3位:漁業
- ・電気が余っているため、アルミニウムなどの工場誘致ではなく、海底ケーブルによる電気輸出を計画している。
- ・発電量を増加させることは可能なので、農業用温室を増やし電気自動車への切り替えなどを考えている。

【環境省】

- ・国土の20%が自然保護地域、地熱発電所はなるべく公園の外に建設し、送電線も景観を配慮し、基本は地下埋設。
- ・地熱発電所はデザイン性も考え、現在は観光地として成立している。

(6) 日本での地熱利用を考える

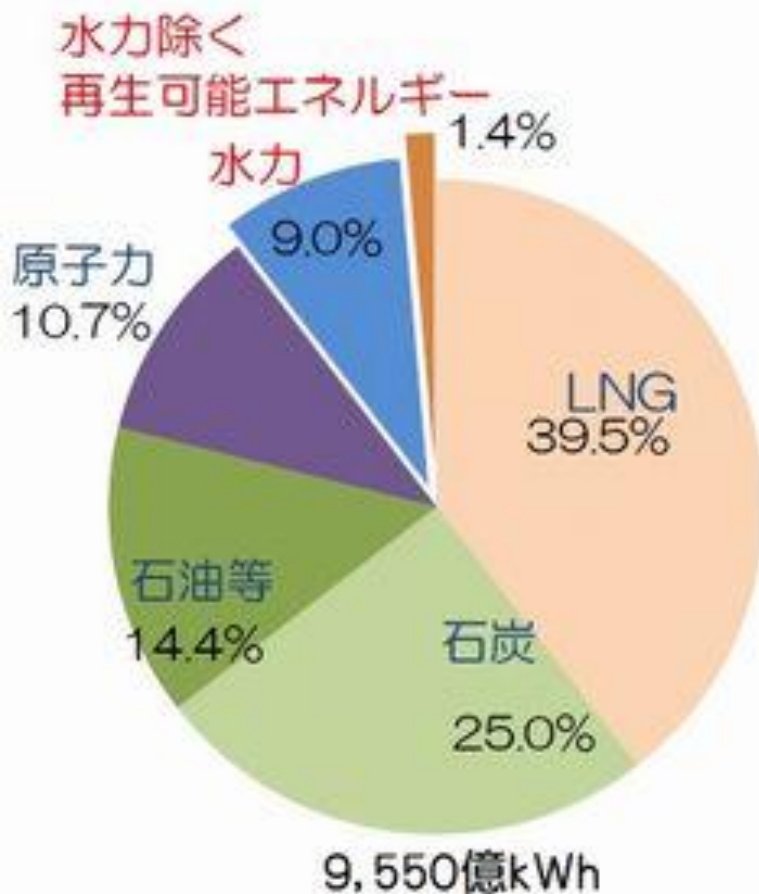
日本は世界**3**位の地熱資源国

(カッコ内は現在の発電能力の順位)

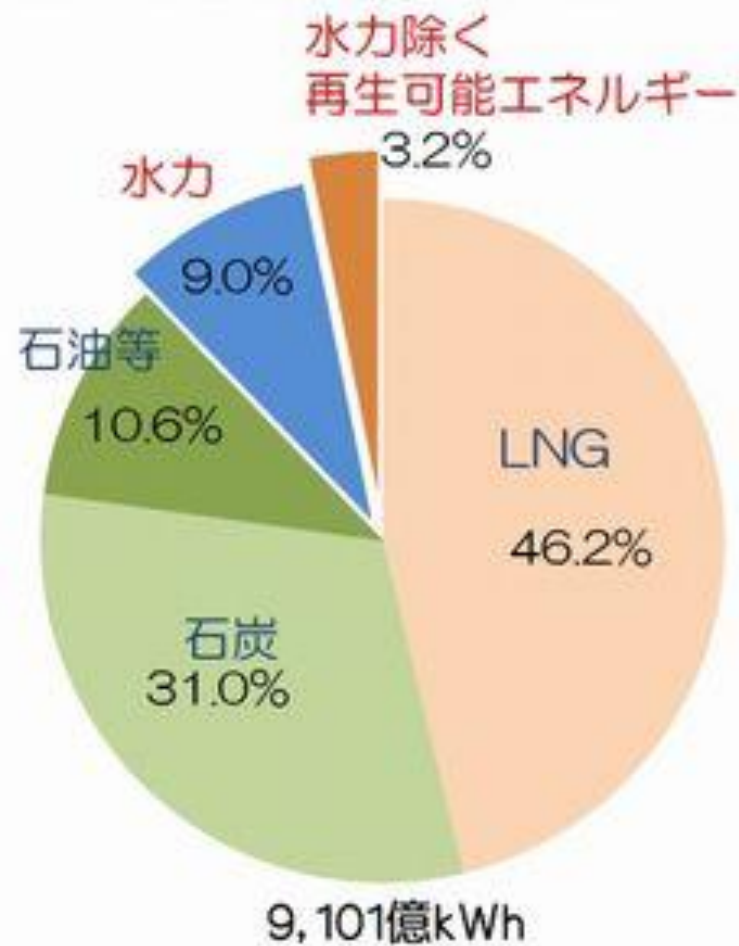
地熱資源量 (単位メガワット)

① (4) インドネシア	27,791
② (1) アメリカ	23,000
③ (6) 日本	20,540
④ (2) フィリピン	6,000
⑤ (5) メキシコ	6,000
⑥ (8) アイスランド	5,800
⑦ (7) ニュージーランド	3,650
⑧ (3) イタリア	3,267

【発電電力量の構成(平成23年度)】

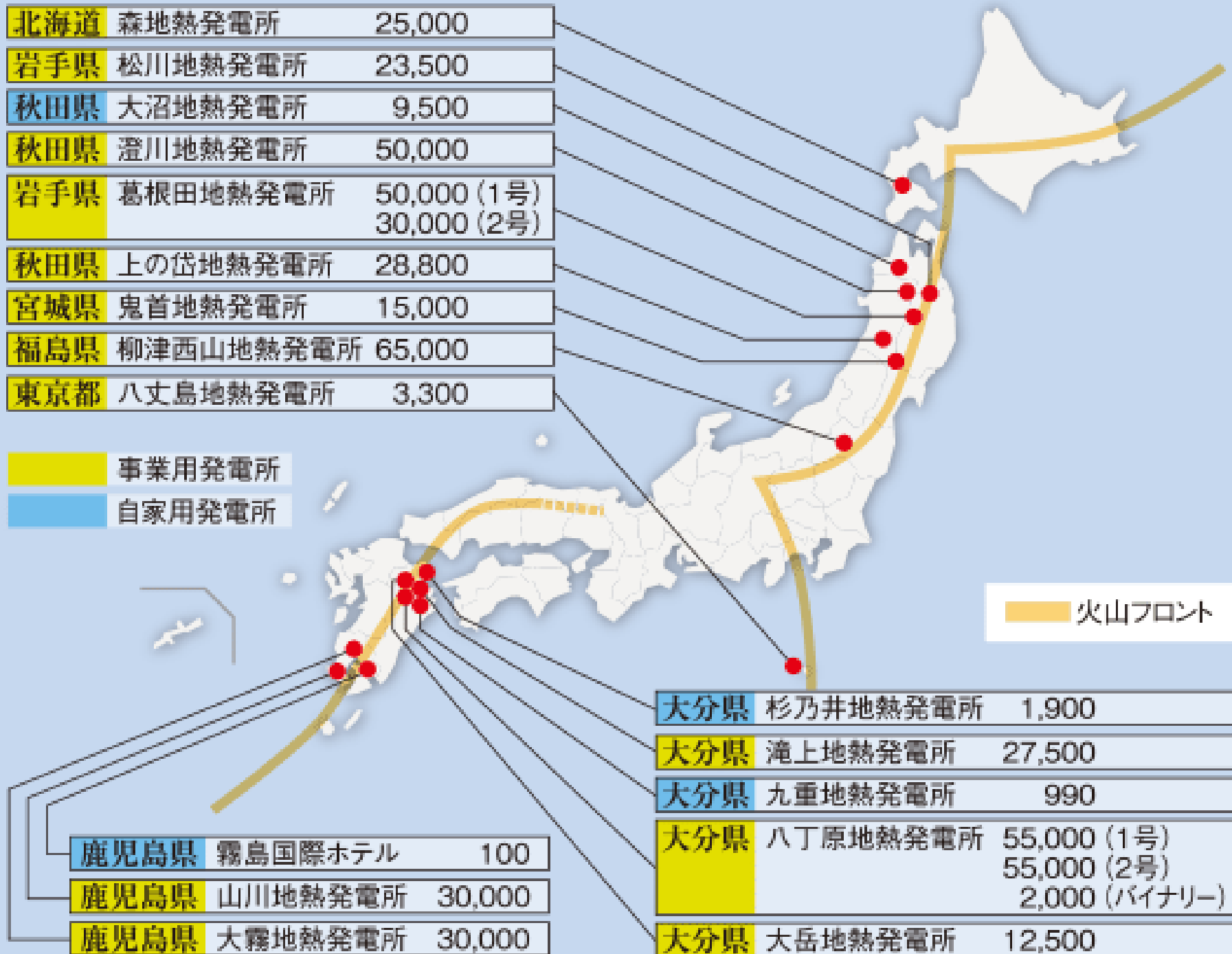


【発電電力量の構成(平成26年度)】



北海道	森地熱発電所	25,000
岩手県	松川地熱発電所	23,500
秋田県	大沼地熱発電所	9,500
秋田県	澄川地熱発電所	50,000
岩手県	葛根田地熱発電所	50,000 (1号) 30,000 (2号)
秋田県	上の岱地熱発電所	28,800
宮城県	鬼首地熱発電所	15,000
福島県	柳津西山地熱発電所	65,000
東京都	八丈島地熱発電所	3,300

	事業用発電所
	自家用発電所





国内最大の地熱発電所である九州電力
八丁原発電所＝大分県九重町

東北水力地熱株式会社
松川発電所＝岩手県八幡平市





**報告は以上です。ありがとうございました。
アイスランドはとっても面白い国でした。
みなさんも、ぜひぜひ！**